

令和2年度事業報告

1、総括的事項

我が国では、世界に類を見ない超高齢化社会が進行しており、急速な高齢化と人口減少は、社会保障費の増大や生産人口年齢の減少による人手不足など、様々な影響を及ぼすことが懸念されています。そこで国は高齢者の雇用を促進するため、法律を改正し、使用者に対し、令和3年4月から70歳までの雇用確保措置を講ずることを努力義務化しました。シルバー人材センターとしては、このことにより今後会員の減少につながるのではないかと危惧されるところです。

さて、令和2年度では、シルバー事業を推進していくうえで、会員の増強と新たな就業先の開拓・拡大を会員・役職員とが一体となり普及啓発のためのPR活動を実施し、高齢者の知識と経験を活かし、生涯現役で活躍し続けられる就業機会の提供と確保にも努めましたが、新型コロナウイルスの影響等により会員数、事業実績については前年度を下回る結果となりました。

このことから、今後においても新型コロナウイルス感染拡大防止に伴う新たな生活様式、生活環境や雇用形態の変化等によりシルバー事業は楽観できない厳しい状況が続くと思われませんが、就業機会の拡大を図ることや会員の増強については必要不可欠であることから、引き続き最重要課題として取り組んで参ります。

2、個別事項

(1) 会員の拡大

会員の拡大については、「会員1人1会員獲得運動」に取り組み、今年度も引き続き大型量販店でのパンフレット・チラシの配布や市町広報紙への掲載、新聞折込み、各種講習会によるPR等を積極的に実施するとともに、北浦三市シルバー人材センター（萩広域・長門・美祢）共同事業による会員募集広告を行いました。

入会説明会は、毎月1回定期的に開催し、ホームページにその日程を掲載しました。

また、臨時的な入会説明会も開催し、健康で働く意欲のある高齢者の入会促進に努めました。

(2) 事業実績

請負・委任による受注件数は3,004件で、前年度に比べ378件減少し、契約金額は2億5,144万3,808円で前年度に比べ1,239万7,807円の減額となりました。

職種別の実績では、建物管理が7,040万5,022円で159万5,409円の増額、縫製作業が20万5,223円で8万6,187円の増額（前年比172.4% マスク販売・610枚）剪定作業が1,523万3,163円で234万6,235円

の減額、調査事務が25万1,748円で71万6,880円の減額、駐車場管理が1,473万5,341円で71万6,880円の減額、草取り作業が841万73円で66万3,879円の減額、草刈り作業が3,584万3,470円で608万5,207円の減額、屋内清掃が2,001万6,692円で141万3,582円の減額、家事援助サービスが299万9,127円で52万5,790円の減額になりました。

一方、契約金額の事務所別の内訳では、対前年比で 萩事務所91.8%、阿武出張所104.4%、むつみ出張所96.3%、須佐出張所92.2%、田万川出張所95.4%となり萩広域全体で93.8%となりました。

派遣事業は、24事業所へ71人の会員を派遣し、契約金額は5,396万491円で、前年度に比べ58万5,469円の増額になりました。

この結果、請負・委任事業と派遣事業の合計は2億5,144万3,808円で、前年度に比べ1,239万7,807円の減額になりました。

(3) 就業機会の開拓・拡大

地域に密着したシルバー人材センターを広く市民の方々に理解と協力を得られるよう普及啓発を推進するとともに、会員の就業の実態及び意欲や希望を考慮しながら、就業機会の開拓・拡大を図りました。しかし、令和2年度は軒並み各地域のイベント、ふるさとまつりが中止になりPRが出来ませんでした。引き続き大型量販店で役職員が市民へ直接チラシを手渡し、シルバー人材センター事業について説明しながら就業開拓に取り組みました。

(4) 安全就業の推進

シルバー事業において、「安全はすべてに優先する」を理念のもと、会員の安全就業を確保し、生きがいを持って就業できるよう取り組みました。

安全委員会の開催によって安全意識の啓発を目指すとともに、就業中や就業途上の事故防止、健康管理に努めていただくよう安全委員を中心に巡回パトロールを実施しました。

また、派遣運転業務就業会員を対象とし、9月8日から11月27日の間萩自動車学校で開催された交通安全定期診断を会員25名の会員が受講し、交通安全に対する意識の高揚に取り組みました。

令和3年度は、怪我、事故ゼロを目指し会員の皆様と共に安全就業に努めていきます。

(5) 適正就業の推進

適正就業・就業拡大委員会(委員12名)を開催し、仕事の配分調整等を行いました。また、継続就業の長期就業の是正を図るため「適正就業に関する運用基準」

に基づき、就業機会の公平化を図りました。

(6) 研修会・講習会の開催

女性会員の増強と会員の福利厚生を図るために、萩市・阿武町在住の60歳以上の方を対象にした「福祉・家事援助講習会（料理教室・絵手紙講習会）」を予定しましたが、新型コロナウイルスの感染拡大が収まらず、今年度は中止となりました。

また、事業の普及啓発・会員の増強対策・会員の技術、技能の向上を図り、県連合会主催の高齢者活躍人材確保育成事業では、健康セミナー、シニアライフ講座、お掃除、刈払機取扱い、剪定講習会を開催しました。

講習会には51人が受講され、このうち2人が新規に入会されました。

(7) 労働者派遣事業の推進

高年齢者の臨時的・短期的な就業において発注者の指揮命令下にある等請負契約に適さないものに関し労働者派遣事業で対応し、事業の適正化ならびに法令遵守を推進しました。

シルバー派遣事業衛生委員会では、衛生委員会4回、健康講習会1回(12名受講)開催し衛生委員会開催後毎回「衛生委員会通信」を発行するなど、派遣労働者の健康管理を図ることとしました。

今年度の派遣労働者教育訓練は、県連合会主催による労働法関係講座が開催され、11人が受講しました。